

決算のハイライト(2020 年 3 月期第 1 四半期)

- 1) 2020 年第 1 四半期の決算は、減収減益(前年同期比)。
売上減の主な要因は、前期自社保有の2発電所の売却により売電収入が減少した為。
ただし、売上総利益は前年より増加。
営業利益の減少理由は、研究開発費も含めた一般管理費が約 50 百万円増加した為であるが想定内。
支払利息は、57 百万円から 43 百万円と 14 百万円減少しており、大幅に改善。
- 2) 電子・通信用機器事業(100%子会社の多摩川電子)においては、移動体通信分野と、官公庁及び公共関連分野での受注高が 1,208 百万円(前年同期比 49.3%増)と大幅に拡大しており、今後収益に反映されてくる。
- 3) 再生可能エネルギー事業において、今期は自社保有の発電所の売却を予定。
第 1 四半期決算には反映されておらず、今期中に売却し収益に反映されてくる予定。
- 4) 例年弊社は、官公庁及び公共関連分野の売上が多い為、収益時期の傾向は下期偏重型。
- 5) 上記の理由から、通期業績予想は、売上高 5,699 百万円(48.4%増)、営業利益 524 百万円(242.2%増)に据え置き。